



「ピュア」

私たちは
 不思議なくらい
 ピュアだった
 それは自然に
 抱かれていたからなのか
 時間がゆっくりと
 流れていたからなのか
 その理由はわからない
 でも本当に
 不思議なくらい
 ピュアだった

自然に笑みがこぼれ
 やさしい言葉がこぼれ
 手と手をとって
 声と声を合わせ
 本当に触れ合うことを
 楽しんでいた

それは青く澄み切った
 あの空と似ている
 それはとうとうと流れた
 清流に似ている
 それは漆黒の間に
 光り輝いていた
 星たちと似ている
 私たちは本当に
 自然の中でピュアだった

2年 野外教室 10月6日(火)

